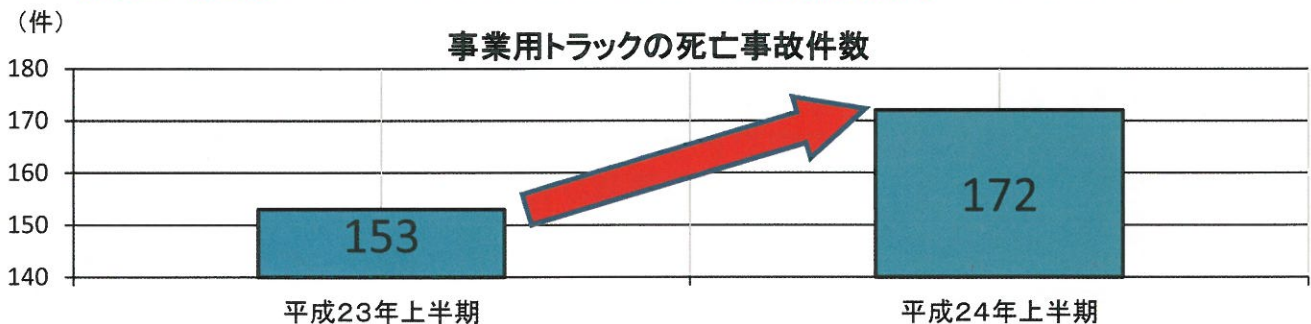


トラック事業者のみなさまへ

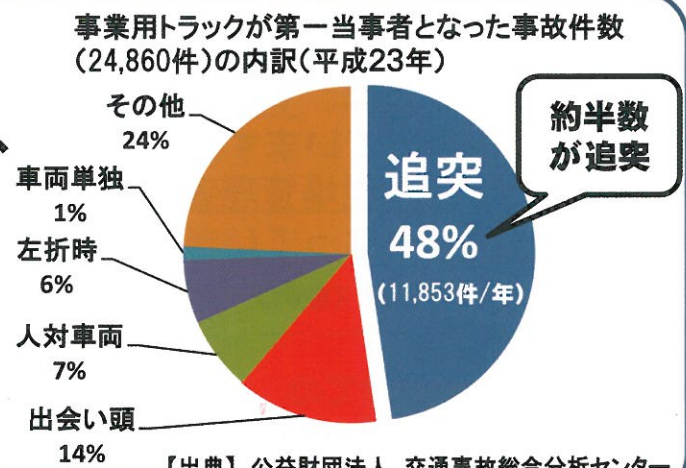
事業用トラックの死亡 事故が増えています!!

平成24年上半期の事業用トラックが第一当事者となる
死亡事故が前年同期と比較して**増加傾向**にあります。



【出典】公益財団法人 交通事故総合分析センター

また、事業用トラックの
全事故件数（第一当事者）のうち、
約半数が追突事故です。



【出典】公益財団法人 交通事故総合分析センター

◎過労運転等による事故を防止するため、**点呼の確実な実施**等により
適切な運行管理を確実に行いましょう。

◎追突事故など、トラック事故の社会的な重大性等を理解させるため、
国土交通省が策定した**マニュアルを活用**して運転者に対する
安全運転等の指導・監督を行いましょう。



※…マニュアルについては裏面参照



国土交通省



公益社団法人

全日本トラック協会

全国貨物自動車運送適正化事業実施機関

国土交通省策定のトラック事業者向けマニュアルの例

自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う 一般的な指導及び監督の実施マニュアル

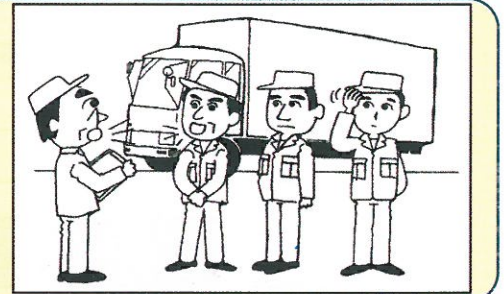
【特徴】

- ・ 事業者は、運転者に対して、指導・監督を行うことが義務付けられています。
- ・ 本マニュアルは、法令で定められた内容をわかりやすく記述したものです。

トラック事業者編（抜粋）

● トラック事故が社会的に及ぼす影響の大きさ

トラックの大きな車体は、大きな事故を引き起こす可能性があり、また、道路交通量の中でトラックの走行は大きな割合を占めているため、トラック事故が社会に与える影響の大きさを認識させましょう。



トラック追突事故防止マニュアル

【特徴】

- ・ 本マニュアルは、トラック事業者の皆さまによる実際の取組みを促すことに焦点を当てています。
- ・ 経営トップ、現場管理者及び運転者それぞれの立場と役割に応じたマニュアルとなっています。

経営トップ向け指針（抜粋）

現場管理者向けマニュアル（抜粋）

運転者向けマニュアル（抜粋）

経営トップが全ての 安全責任をもちましょう！



※解説

本マニュアルでは、「経営トップが安全に対して責任をもちている」姿勢として、以下を挙げています。
・ 自社の安全施策を最終判断して実行。
・ 自社で発生する全ての事故に対する責任を持つ。
・ 安全に関する会議には必ず出席。

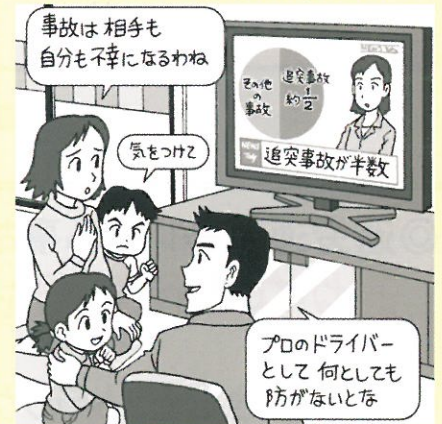
目標を決めましょう！



※解説

本マニュアルでは、現場管理者が、理想的な水準（例：事故ゼロ、デジタコ全員満点、社内テスト全員満点）にこだわらず、「がんばれば達成できそうな目標」を設定することをオススメしています。

追突事故を起こさない 決意をもちましょう！



※解説

本マニュアルでは、プロドライバーの追突事故防止の決意の1つとして、「トラックの事故で最も多い事故が、「追突」であることを知っている」ことを挙げています。

これらの情報は、国土交通省のホームページでご覧いただけます。

○「安全教育・事故防止マニュアルを活用しよう！」

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03manual/index.html>